



株式会社荏原製作所

2023年12月期 第2四半期決算説明会

2023年8月14日

イベント概要

[企業名]	株式会社荏原製作所
[企業 ID]	6361
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2023 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2023 年度 第 2 四半期
[日程]	2023 年 8 月 14 日
[時間]	16:00 – 17:30 (合計：90 分、登壇：26 分、質疑応答：64 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	8 名 取締役 代表執行役社長 兼 CEO 兼 COO 浅見 正男 (以下、浅見) 執行役 建築・産業カンパニープレジデント 永田 修 (以下、永田) 執行役 エネルギーカンパニープレジデント 宮木 貴延 (以下、宮木) 執行役 インフラカンパニープレジデント 太田 晃志 (以下、太田)

執行役 環境カンパニープレジデント 山田 秀喜（以下、山田）

執行役 精密・電子カンパニープレジデント

戸川 哲二（以下、戸川）

執行役 経営企画・経理財務統括部長 兼 CFO

細田 修吾（以下、細田）

経営企画部長

大崎 晃裕（以下、大崎）



2023年12月期第2四半期 決算説明会資料 荏原 (6361)

2023年8月14日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead Beyond

株式会社 荏原製作所

大崎：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所の2023年12月期第2四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より、会を始めさせていただきます。本日の15時に、決算関連書類を東証のプラットフォームならびに当社ホームページに開示しております。そちらもご覧いただきながら、ご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

私どもの出席者をご紹介します。代表執行役社長、浅見正男でございます。

浅見：浅見です。よろしくお願いいたします。

大崎：建築・産業カンパニープレジデント、永田修でございます。

永田：永田です。よろしくお願いいたします。

大崎：エネルギーカンパニープレジデント、宮木貴延でございます。

宮木：宮木です。どうぞよろしくお願いいたします。

大崎：インフラカンパニープレジデント、太田晃志でございます。

太田：太田です。どうぞよろしくお願いいたします。

大崎：環境カンパニープレジデント、山田秀喜でございます。

山田：山田です。本日はよろしくお願いいたします。

大崎：精密・電子カンパニープレジデント、戸川哲二でございます。

戸川：戸川です。よろしくお願いいたします。

大崎：経営企画・経理財務統括部、細田修吾、IR担当執行役でございます。

細田：細田でございます。よろしくお願いいたします。

大崎：司会は、経営企画部、大崎が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

目次



当決算におけるポイント	P3	4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗	P20
1. FY23 1-2Q連結決算サマリ		5. 補足資料	
・連結業績	P5	・受注高	P26
・セグメント別	P6	・売上収益	P27
・営業利益増減分析	P7	・営業利益	P28
・地域別売上収益	P8	・受注残高	P29
2. FY23 1-2Qセグメント別業績		・地域別売上収益	P30
・建築・産業	P10	・サービス&サポート(S&S)売上収益	P31
・エネルギー	P11	・貸借対照表	P32
・インフラ	P12	・キャッシュ・フロー	P33
・環境	P13	・資本的支出、減価償却費、研究開発費	P34
・精密・電子	P14	・ESG Topics	P35
3. FY23 業績予想		・事業セグメントの変更	P36
・連結業績	P16		
・セグメント別	P17		
・営業利益増減分析	P18		

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY23」は2023年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している
- 本決算説明会資料より、2023年1月の新セグメント移行に伴い概算表記していたFY22業績数値は実績値へ変更している

2 Copyright(C) Ebara Corporation, All rights reserved

本日のスケジュールでございますが、決算概要を経理財務担当の細田より、続けて、今期の見通しを社長の浅見より説明させていただきます。その後、皆様からのご質問をお受けいたします。終了時刻は17時30分を予定しております。

また、本日の会議の内容は、Zoomのオンデマンドにて聞くことができます。詳細は、会議終了後にメールにてご連絡いたします。

それでは、細田より説明に入らせていただきます。

FY23 1-2Q業績

		前年同期比*	前回計画比*
受注高	3,676 億円	-317 億円 -7.9%	-48 億円 -1.3%
売上収益	3,638 億円	+514 億円 +16.5%	+28 億円 +0.8%
営業利益	337 億円	+65 億円 +24.2%	+18 億円 +5.8%
営業利益率	9.3%	+0.6pts	+0.5pts

*△は+5%以上、▽は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

FY23 業績予想

		前期比*	前回計画比*
受注高	7,630 億円	-522 億円 -6.4%	+230 億円 +3.1%
売上収益	7,470 億円	+661 億円 +9.7%	-
営業利益	710 億円	+4 億円 +0.6%	-
営業利益率	9.5%	-0.9pts	-

トピックス

FY23 1-2Q 業績

- 受注高は高水準を維持し、売上収益と営業利益は2Qとして過去最高額を更新
- 受注高は精密・電子で大幅に減少したものの、エネルギー、建築・産業などがカバーし、全体として高水準を維持
- 営業利益は固定費の増加を増収効果でカバーし、増益

FY23 業績予想

- エネルギーの好調な上半期業績の進捗等を踏まえ、同セグメントの通期業績予想を上方修正
- 精密・電子における市場減速及び業績見通しを踏まえ、同セグメントの通期業績予想を下方修正
- 上記の結果、前回公表した業績予想に対して、受注は増加、売上収益、営業利益については据え置き

その他

- 今期より対面市場軸での新セグメント（旧風水力を3セグメントに細分化）にて業績開示を開始

3 Copyright© Ebara Corporation, All rights reserved

細田：IR 経理財務担当執行役の細田より、今回の決算におけるポイントについてご説明させていただきます。

まず、今回の第2四半期の連結業績ですが、売上、営業利益、それから親会社の所有者に帰属する四半期利益までは、いずれもセカンドクォーターとしては過去最高の決算でありまして、概して好調な決算であったと申し上げられると思います。

受注に関しましては、精密・電子セグメントが前年同期比で減少しましたが、エネルギーや建築・産業など その他のセグメントがカバーしたことで、受注に関しても、ヒストリカルには、セカンドクォーターとして、昨年に次ぐ高水準な決算となりました。

売上につきましては、環境セグメントを除く4セグメントで増収となりまして、全体として固定費が増加する一方で、その増収効果がこれを上回った形で、営業利益も前年同期比で増益となっている、そんな決算でございました。

それを踏まえまして、通期業績予想につきましては、精密・電子セグメントにおいて、直近の事業環境と上半期の進捗を考慮いたしまして、若干の下方修正とする一方で、エネルギーセグメントにおいては、精密・電子セグメントの下方修正を上回る上方修正を行う形としております。

この結果、全社の通期業績予想では、受注は上方修正、売上・営業利益については、セグメントの内での入り繰りはありますが、期初の目標値を維持することとしております。

全体としましては、利益率が高い一方で、ボラティリティが大きい精密・電子セグメントが、現在調整局面になっておりますので、そのマイナス分をエネルギーセグメントをはじめとする、ほかのセグメントがカバーするといった、当社グループらしいと言え、らしい決算だったと言えるかなというふうに思っております。



1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY23 1-2Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
5. 補足資料

4 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

それでは、詳細説明に入らせていただきます。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ

連結業績



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22 1-2Q	FY23 1-2Q	増減	増減率	FY23 計画 23/05/15	増減	増減率
	a	b	b-a	(b-a)/a	c	b-c	(b-c)/c
受注高	3,994	3,676	-317	-7.9%	3,725	-48	-1.3%
売上収益	3,124	3,638	+514	+16.5%	3,610	+28	+0.8%
営業利益	271	337	+65	+24.2%	319	+18	+5.8%
営業利益率	8.7%	9.3%	+0.6pts		8.8%	+0.5pts	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	180	205	+25	+13.9%	192	+13	+7.2%
為替レート							
対米ドル (円)	122.89	134.79	+11.90		130.00	+4.79	
対ユーロ (円)	134.22	145.66	+11.44		137.00	+8.66	
対人民元 (円)	18.97	19.46	+0.49		19.50	-0.04	

5 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5 ページ目をご覧ください。第 2 四半期累計期間の連結業績です。

受注は、前年同期から 317 億円減少して、3,676 億円。売上は 514 億円増加して、3,638 億円。営業利益は 65 億円増加して、337 億円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、25 億円増加して 205 億円となりました。

上半期の期中平均為替レートにつきましては、各主要通貨で前年比、円安が進んでおります。

スライドの右側の方には、5 月公表時における上半期着地計画との対比を掲載しておりますが、受注・売上はセグメント内での入り繰りがありますが、ほぼ計画通り。営業利益は、5 月の公表時と比べて若干の上振れでの着地ということになっております。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリー セグメント別



(単位：億円) 発表日(年/月/日)		FY22 1-2Q a	FY23 1-2Q b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a	FY23 1-2Q計画 23/05/15 c	増減 b-c	増減率 (b-c)/c
連結合計	受注高	3,994	3,676	-317	-7.9%	3,725	-48	-1.3%
	売上収益	3,124	3,638	+514	+16.5%	3,610	+28	+0.8%
	営業利益	271	337	+65	+24.2%	319	+18	+5.8%
	営業利益率	8.7%	9.3%	+0.6pts		8.8%	+0.5pts	
建築・産業	受注高	1,026	1,110	+84	+8.2%	1,050	+60	+5.8%
	売上収益	895	1,065	+169	+18.9%	1,020	+45	+4.4%
	営業利益	48	67	+19	+39.9%	70	-2	-3.8%
	営業利益率	5.4%	6.3%	+0.9pts		6.9%	-0.6pts	
エネルギー	受注高	592	1,014	+422	+71.4%	950	+64	+6.8%
	売上収益	640	794	+153	+24.0%	730	+64	+8.9%
	営業利益	42	73	+30	+72.8%	40	+33	+83.0%
	営業利益率	6.6%	9.2%	+2.6pts		5.5%	+3.7pts	
インフラ	受注高	259	252	-6	-2.6%	240	+12	+5.3%
	売上収益	255	292	+37	+14.7%	330	-37	-11.3%
	営業利益	41	44	+3	+7.4%	43	+1	+2.4%
	営業利益率	16.1%	15.0%	-1.1pts		13.0%	+2.0pts	
環境	受注高	462	492	+30	+6.6%	480	+12	+2.7%
	売上収益	364	309	-55	-15.1%	325	-15	-4.7%
	営業利益	9	26	+16	+176.9%	20	+6	+31.6%
	営業利益率	2.6%	8.5%	+5.9pts		6.2%	+2.3pts	
精密・電子	受注高	1,646	799	-846	-51.4%	1,000	-200	-20.1%
	売上収益	960	1,169	+209	+21.8%	1,200	-30	-2.6%
	営業利益	139	126	-13	-9.4%	150	-23	-15.9%
	営業利益率	14.5%	10.8%	-3.7pts		12.5%	-1.7pts	
その他、調整	受注高	7	5	-1	-19.7%	5	+0	+18.2%
	売上収益	6	6	-0	-11.2%	5	+1	+24.3%
	営業利益	-8	0	+8	-	-4	+4	-
	営業利益率	-119.8%	9.1%	+128.9pts		-80.0%	+89.1pts	

6 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

6 ページ目をご覧ください。セグメント別の決算のサマリーです。

前年同期の実績対比の説明ですが、まず受注につきましては、エネルギーセグメントが好調に推移しまして、建築・産業、環境の両セグメントも昨年を上回る状況でした。一方、半導体需要が低迷する中で、精密・電子セグメントの減少が大きく、全体としても 317 億円の減少となっております。

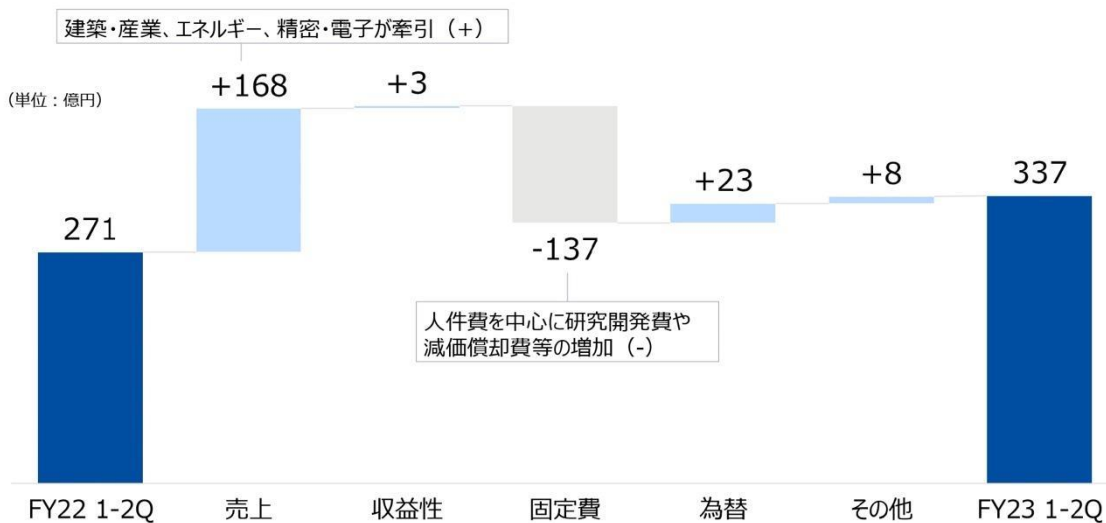
売上につきましては、環境を除くほかの 4 セグメントで前年同期を上回り、514 億円の増加となりました。

営業利益につきましては、前年同期比 65 億円増加しておりますが、その次のページで増減要因についてご説明させていただきます。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ 営業利益増減分析



1-2Qは増収に加え、円安も寄与し増益



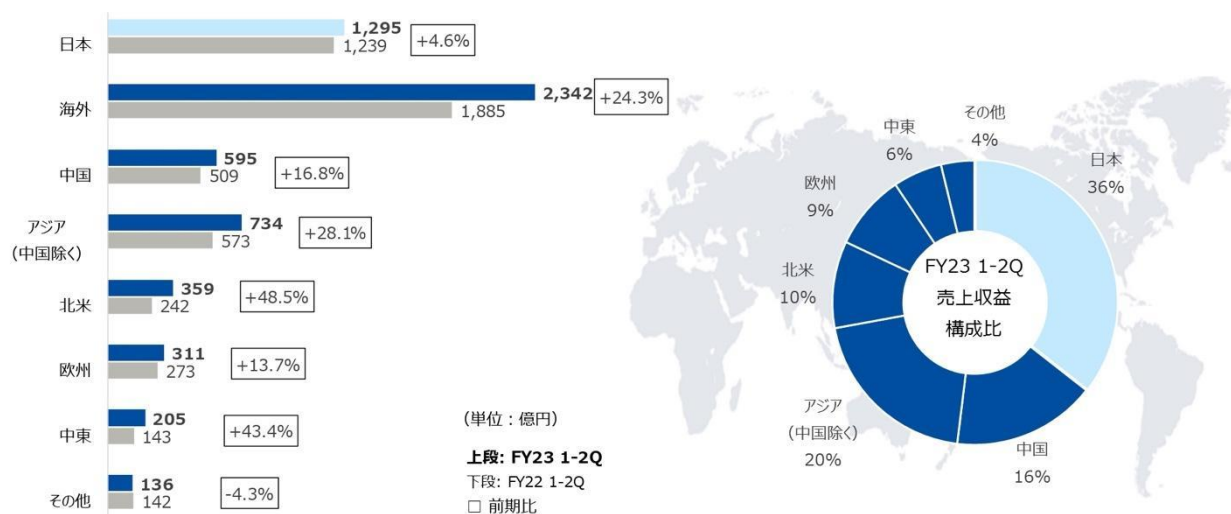
7 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

7 ページ目です。営業利益に関する前年同期からの増減要因分析になります。

環境セグメントを除く他のセグメントでの増収効果によって、プラス 168 億円。それから、収益性は建築・産業や環境セグメントが改善した一方で、精密・電子セグメントでは、案件ミックスなどにより収益性の悪化が見られ、全体では収益性としてプラス 3 億円にとどまっています。

一方で、固定費は全社の業績連動賞与等による人件費の増加、それから、研究開発費の増加、減価償却費などの増加によりまして、前年同期より 137 億円のマイナス要因となっております。

全体感としては、この固定費は増加しましたが、増収効果がそれを上回り、かつ為替の後押しもありまして、全体では 65 億円の増益となりました。



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

8 Copyright© Ebara Corporation, All rights reserved.

8 ページ目は、地域別売上収益構成です。

今期は、海外の各地域で売上が伸長しておりまして、海外売上構成比率は、右側の円グラフの濃い青色の部分ですが、全体として64%を占めました。過去水準と比較しても、海外売上割合が高い決算だったと思っております。

地域別の状況としましては、中国では、昨年度のゼロコロナ政策によって事業活動が停滞していた昨年と比べますと、今期は、産業市場、水インフラ市場、石油化学、半導体関連分野、いずれにおいても投資は底堅く推移し、売上を伸ばしております。

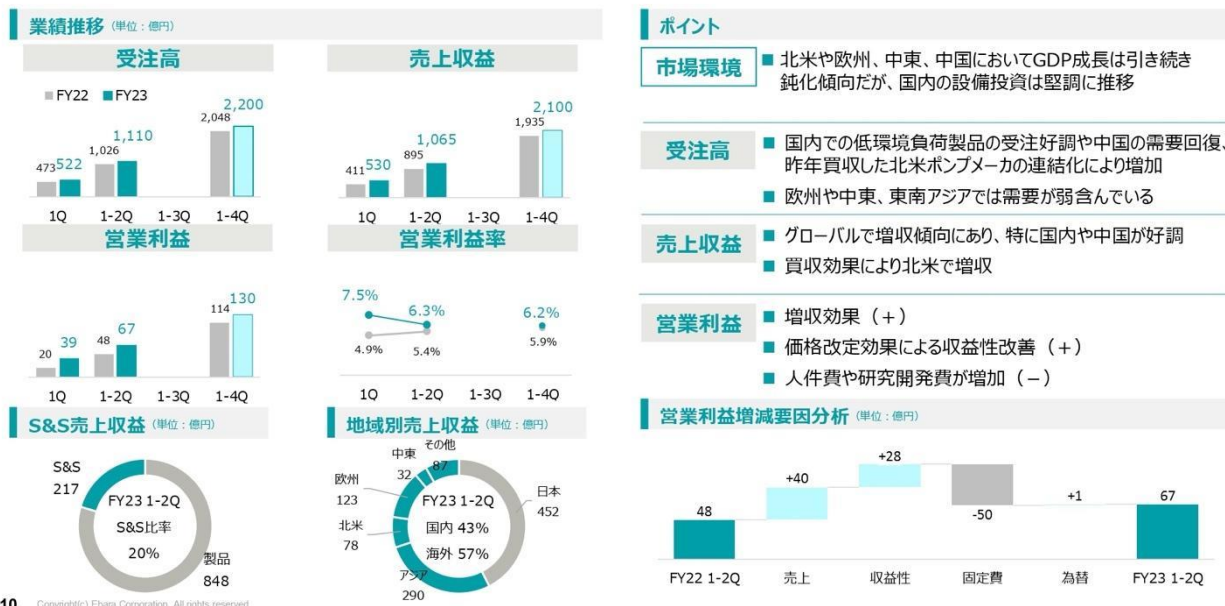
中国を除くアジアに関しましては、精密・電子セグメントを中心に売上が伸長しています。北米や中東では、エネルギーセグメントが好調に推移する一方で、建築・産業セグメントで、昨年買収した Hayward Gordon 社の売上増が、インオーガニックの増加分として寄与している状況です。

セグメントごとの地域別、時系列の推移は、お手元の資料の30ページにも掲載しておりますので、そちらも併せてご参照ください。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
- 2. FY23 1-2Q セグメント別業績**
3. FY23 業績予想
4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
5. 補足資料

続きまして、各セグメント別の業績の説明に入ります。

2. FY23 1-2Q セグメント別業績 建築・産業



10 ページ目。まず、建築・産業セグメントからです。

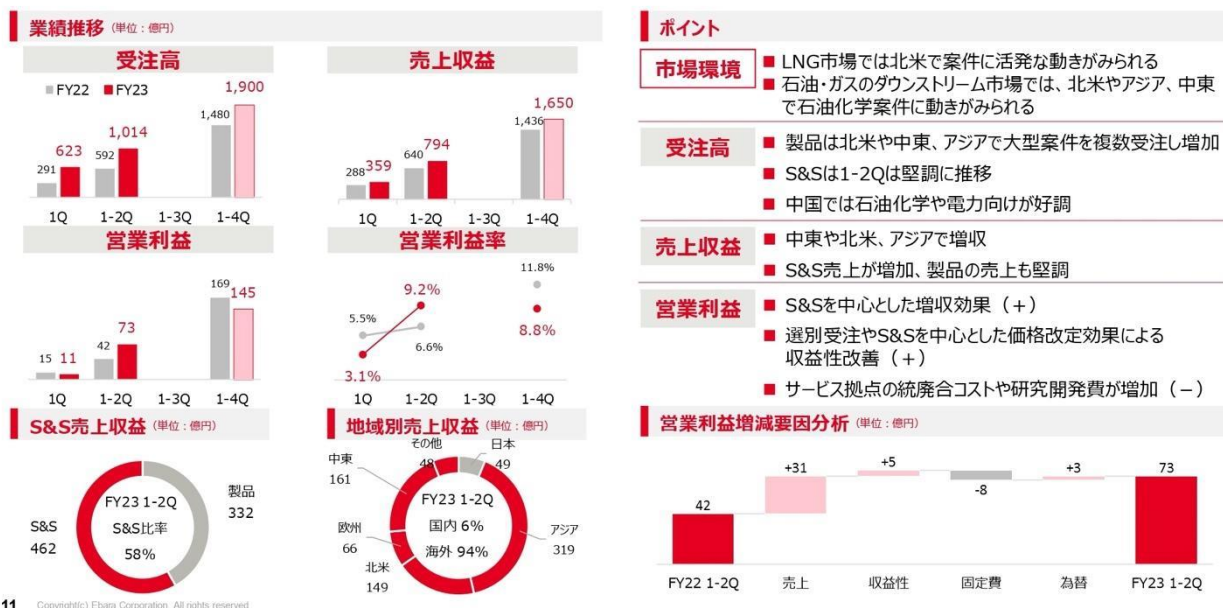
受注は、前年同期から 84 億円増の 1,110 億円、売上は 169 億円増加の 1,065 億円、営業利益は 19 億円増加の 67 億円で、増収増益となっております。

建築設備市場は、北米や欧州を中心に物価高や金利上昇などにより 経済成長が鈍化する一方で、国内では、企業の生産活動や設備投資に持ち直しの動きがありました。そのような事業環境下、受注は国内では高効率な給水ユニットなど、低環境負荷製品が好調で、中国では、昨年比でコロナのロックダウンからの経済回復により増加しています。

売上は、国内、中国で増加しています。営業利益は、事業活動の拡大に伴い、固定費も増加しておりますけれども、増収に加え、製品の価格改定による収益性改善の効果も表れてきておりまして、その結果、増益となっています。

昨年買収した、北米の Hayward Gordon 社の連結化が、受注・売上・営業利益、それぞれに寄与しています。

2. FY23 1-2Q セグメント別業績 エネルギー



11 Copyright©(c) Ebara Corporation, All rights reserved

続いて、エネルギーセグメントです。11 ページをご覧ください。

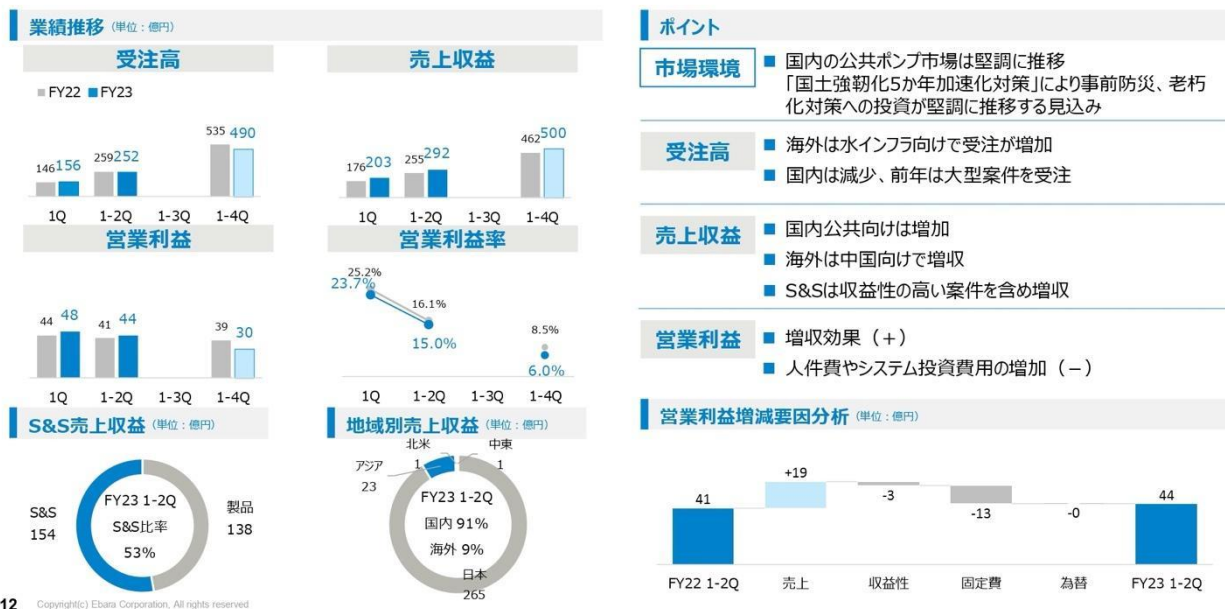
受注は前年同期から 422 億円増加の 1,014 億円、売上は 153 億円増加の 794 億円、営業利益は 30 億円増加の 73 億円で、これもまた増収増益となっています。

石油・ガス市場では、北米での LNG 案件に活発な動きが見られます。また、石油化学では、昨年に引き続きアジアや中東の需要が堅調に推移しています。そのような中、受注高は、北米、中東、アジアが非常に好調な決算でございました。特に大型の LNG 案件を受注し、また、サービス&サポートの受注高も、期初想定を上回る水準で、現在のところまでは推移してきております。

売上は、中東や北米、中国を含むアジアで増収となっております。製品と、それからサービス&サポートともに堅調に推移してきています。

営業利益につきましては、増収効果に加えまして、選別受注による製品の収益性改善や、サービス&サポートを中心とした価格改定効果によって、前年同期比 30 億円の増益となっております。

2. FY23 1-2Q セグメント別業績 インフラ



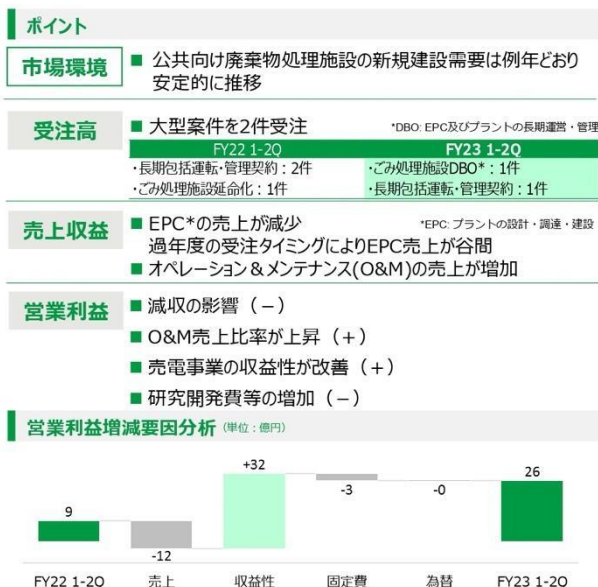
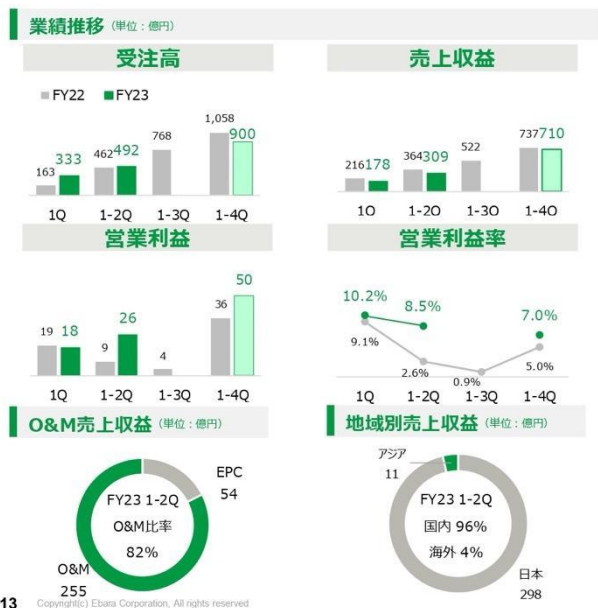
続きまして、12 ページ目、インフラセグメントです。

受注は前年同期比 6 億円減の 252 億円、売上は 37 億円増加の 292 億円、営業利益は 3 億円増加の 44 億円で、増収増益となっております。

受注は、海外の水インフラ向けで増加しました。国内においては、製品受注は大型案件の受注があった 前年を下回りましたが、ポンプ設備の更新・補修に対する需要が堅調でして、全体としてほぼ横ばいで推移しています。

一方、売上は、過年度に受注した大型案件が今年度の売上に貢献しまして、国内公共向けが高水準で推移しています。海外では、主に中国での売上が伸びています。

営業利益は、固定費が増加したものの、増収効果が、それに上回る増加がありましたので、昨年比で増益となっております。

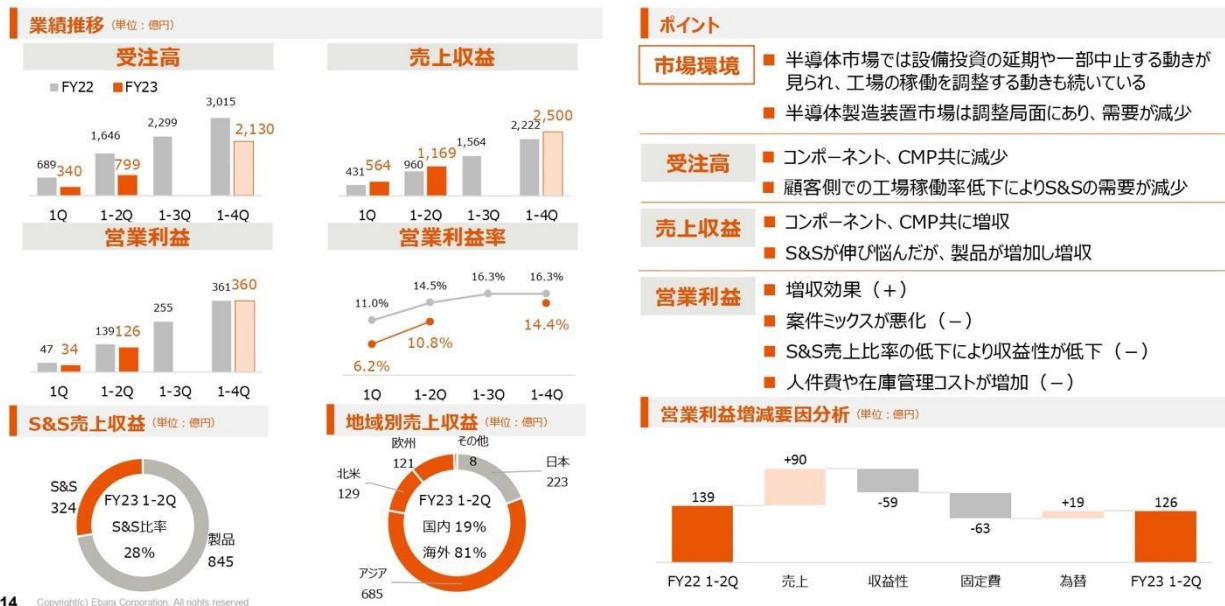


次に、13 ページの環境セグメントです。

受注は前年同期から 30 億円増加の 492 億円、売上は 50 億円減少の 309 億円、営業利益は 16 億円増加の 26 億円で、減収増益となっています。

大型受注案件は、ごみ処理施設の DBO 案件、それから長期包括契約をそれぞれ 1 件ずつ新規に受注しています。

売上は、過年度の EPC 案件における受注が少なかったことで、今期の EPC 売上が減少していますが、一方でオペレーション&メンテナンスは安定した売上を計上しておりまして、オペレーション&メンテナンス売上比率が上昇したこと、それから、昨年に発生した一過性の費用の増加がなくなったこと、さらに売電事業における収益性改善などにより増益となっております。



14 Copyright (c) Ebara Corporation, All rights reserved.

最後に、14 ページ目の精密・電子セグメントです。

受注は前年同期から 846 億円減少の 799 億円です。売上は 209 億円増加の 1,169 億円、営業利益は 13 億円減少の 126 億円で、増収減益となっております。

半導体市場では、客先による設備投資の延期や、一部中止、減産の動きなどが継続しておりまして、半導体製造装置市場の需要も低調に推移しています。これを受けまして、今期の受注は前年同期比約 5 割減の 799 億円となっております。

売上につきましては、お客様の工場の一部停止や調整などの影響を受け、サービス&サポートは減少しています。製品においても、お客様の工場稼働を調整する動きは続き、製品納期を後ろ倒しにする要望が継続していますが、受注残を着実に消化したことで、売上としては増収となっております。

営業利益につきましては、増収による寄与が大きいものの、一方で、製品の案件ミックスの悪化や利益率の高いサービス&サポート売上が減少したことなどに起因しまして、収益性の低下が見られます。固定費につきましては、人件費や在庫管理コストが増加してまして、営業利益を、これもまた押し下げる要因となっております。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY23 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想**
4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
5. 補足資料

浅見：それでは、浅見から、2023年の通期業績の予想についてご説明させていただきます。

3. FY23 業績予想 連結業績

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22 実績 a	FY23 旧計画 23/05/15 b	FY23 計画 23/08/14 c	1-4Q			
				前期比		旧計画比	
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b
受注高	8,152	7,400	7,630	-522	-6.4%	+230	+3.1%
売上収益	6,808	7,470	7,470	+661	+9.7%	-	-
営業利益	705	710	710	+4	+0.6%	-	-
営業利益率	10.4%	9.5%	9.5%	-0.9pts	-	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	504	523	523	+18	+3.6%	-	-
ROIC*	11.6%	10.4%	10.4%	-1.2pts	-	-	-
ROE	15.0%	13.9%	13.9%	-1.1pts	-	-	-
1株当たり年間配当金	193	195	195	+2	-	-	-
為替レート							
対米ドル (円)	131.37	130.00	130.00	-1.37	-	-	-
対ユーロ (円)	137.97	137.00	137.00	-0.97	-	-	-
対人民元 (円)	19.50	19.50	19.50	-	-	-	-

*ROIC: ROIC計算式に關してFY23より以下のとおり分子を従来の「親会社の所有者に帰属する当期利益」から「NOPLAT(みなし税引後営業利益)」に変更しており、FY22のROICについても比較のため新計算式を用いている (FY22 従来ROICでは11.2%)
(計算式) NOPLAT(みなし税引後営業利益) ÷ (有利子負債(期首期末平均) + 親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均))

16 ページでございます。

今期の事業環境については、細田からもご説明させていただきましたが、まず、精密・電子セグメントが対面する半導体関連市場ですが、こちらでは低迷が続いている状況でございます。

生成 AI 向けの高性能半導体やパワー半導体など、一部では好調な分野はありますが、当社が納入させていただいているお客様の工場の稼働の状況、そして設備投資の計画などを見ますと、本格的な回復時期については、今年の下期においてもちょっと厳しいのかなというふうに見ております。特に、メモリのお客様については、回復が来期以降になるのではないかと見ております。

一方で、エネルギーセグメントにおきましては、海外でのエネルギー需要の高まりもあって、当初の想定よりも投資案件等に活発な動きが見られます。今後も、石油・ガスの市場においては、堅調な状況が継続すると見ております。

足元の事業環境、そして今後の見通しを踏まえまして、業績予想を精査いたしました結果、精密・電子とエネルギーの二つのセグメントの業績予想を修正することにいたしました。

その結果といたしまして、2023年の全社通期業績予想につきましては、受注については、前回5月の予想から230億円引き上げまして、7,630億円といたしました。一方で売上は7,470億円、営業利益は710億円と据え置くことといたしました。その他、経営指標、配当金、想定為替レートにつきましても、変更はございません。

3. FY23 業績予想 セグメント別



(単位:億円) 発表日(年/月/日)	FY22 実績 a	FY23 旧計画 23/05/15 b	FY23 計画 23/08/14 c	1-4Q				
				前期比		旧計画比		
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b	
連結合計	受注高	8,152	7,400	7,630	-522	-6.4%	+230	+3.1%
	売上収益	6,808	7,470	7,470	+661	+9.7%	-	-
	営業利益	705	710	710	+4	+0.6%	-	-
	営業利益率	10.4%	9.5%	9.5%	-0.9pts	-	-	-
建築・産業	受注高	2,048	2,200	2,200	+151	+7.4%	-	-
	売上収益	1,935	2,100	2,100	+164	+8.5%	-	-
	営業利益	114	130	130	+15	+14.0%	-	-
	営業利益率	5.9%	6.2%	6.2%	+0.3pts	-	-	-
エネルギー	受注高	1,480	1,600	1,900	+419	+28.4%	+300	+18.8%
	売上収益	1,436	1,550	1,650	+213	+14.9%	+100	+6.5%
	営業利益	169	118	145	-24	-14.4%	+27	+22.9%
	営業利益率	11.8%	7.6%	8.8%	-3.0pts	-	+1.2pts	-
インフラ	受注高	535	490	490	-45	-8.6%	-	-
	売上収益	462	500	500	+37	+8.1%	-	-
	営業利益	39	30	30	-9	-23.6%	-	-
	営業利益率	8.5%	6.0%	6.0%	-2.5pts	-	-	-
環境	受注高	1,058	900	900	-158	-14.9%	-	-
	売上収益	737	710	710	-27	-3.7%	-	-
	営業利益	36	50	50	+13	+36.3%	-	-
	営業利益率	5.0%	7.0%	7.0%	+2.0pts	-	-	-
精密・電子	受注高	3,015	2,200	2,130	-885	-29.4%	-70	-3.2%
	売上収益	2,222	2,600	2,500	+277	+12.5%	-100	-3.8%
	営業利益	361	390	360	-1	-0.5%	-30	-7.7%
	営業利益率	16.3%	15.0%	14.4%	-1.9pts	-	-0.6pts	-
その他、調整	受注高	13	10	10	-3	-27.0%	-	-
	売上収益	14	10	10	-4	-32.4%	-	-
	営業利益	-15	-8	-5	+10	-	+3	-
	営業利益率	-104.3%	-80.0%	-50.0%	+54.3pts	-	+30.0pts	-

17 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

次に、17 ページになります。セグメントごとの業績予想をご説明させていただきます。

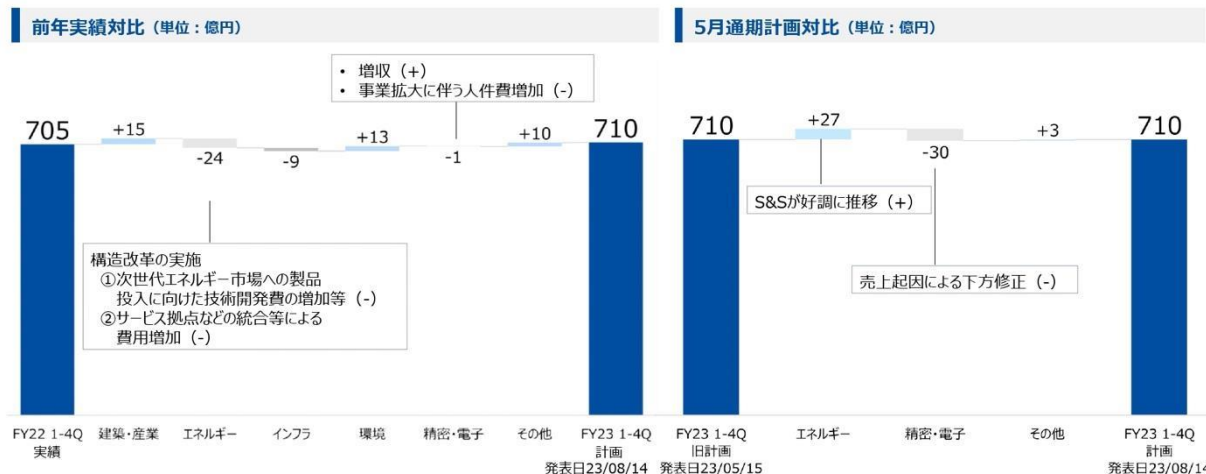
エネルギーセグメントにつきましては、北米、そして中東などの製品受注、それに加えて、需要が一服するのではないかと見ていましたサービス&サポートが、引き続き堅調に推移していることに鑑みまして、受注を300億円、売上を100億円、営業利益を27億円上方修正いたしました。

精密・電子セグメントにつきましては、CMP、コンポーネントともに市場減速の影響、そして上半期の業績の進捗具合を考へまして、受注 70 億円、売上 100 億円、営業利益 30 億円、それぞれ下方修正しております。

3. FY23 業績予想 営業利益増減分析



セグメント内では業績予想の修正はあるが、全社営業利益予想は710億円を据え置き



次が 18 ページになります。

左側の一連のグラフは、23 年の営業利益予想 710 億円について、2022 年の 705 億円からの利益の増減を事業ごとに示したものになります。

エネルギーセグメントにつきましては、前年と比較して、減益と見る見方に変わりはございませんが、上半期はサービス&サポートが前年並みに堅調に推移いたしましたことから、27 億円プラスに見直しました。一方で、精密・電子セグメントは売上を下方修正したことにより、30 億円引き下げました。

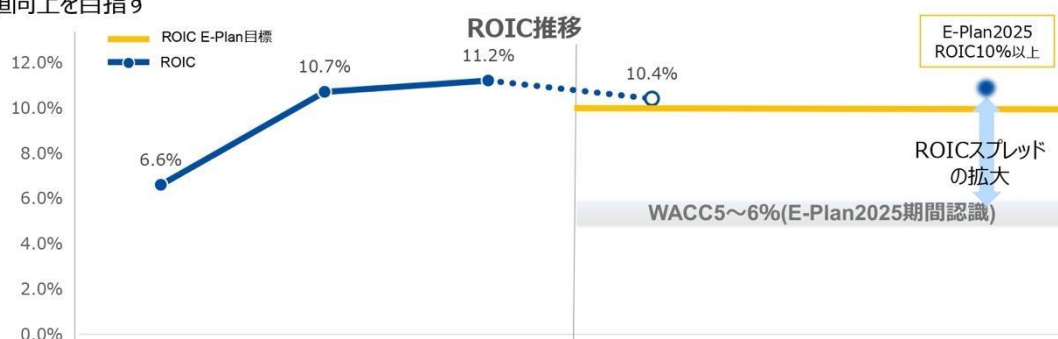
右側のウォーターフォールのグラフは、5 月の前回計画からの利益の修正要因を整理したのとなっております。先ほどからご説明いたしておりますエネルギーと精密・電子の修正額が反映されております。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY23 1-2Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
- 4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗**
5. 補足資料

次に、E-Plan2025 の進捗についてご説明させていただきます。

4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗 資本収益性の維持・向上

WACCを上回るROICの維持・向上とROICスプレッド拡大に繋がる事業戦略および資本政策の実行により持続的な企業価値向上を目指す



	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023計画	FY2025目標
ROIC	6.6%	10.7%	11.2%	10.4%	10%以上
親会社の所有者に 帰属する当期利益*	244億円	436億円	504億円	-	-
投下資本	3,685億円	4,061億円	4,518億円	-	-
WACC (自社認識)	5~6%				

*FY23以降のROIC計算式の分子はNOPLAT

FY2020迄は日本会計基準、FY2021以降はIFRS

当社は、ROIC を重要な経営指標といたしまして、E-Plan の 2013 から採用し ROIC 経営を深めてまいりました。前中計の E-Plan2022 の期間においては、事業規模が拡大して、投下資本が増加する中、確実に収益の改善を図って、ROIC を高めてまいりました。

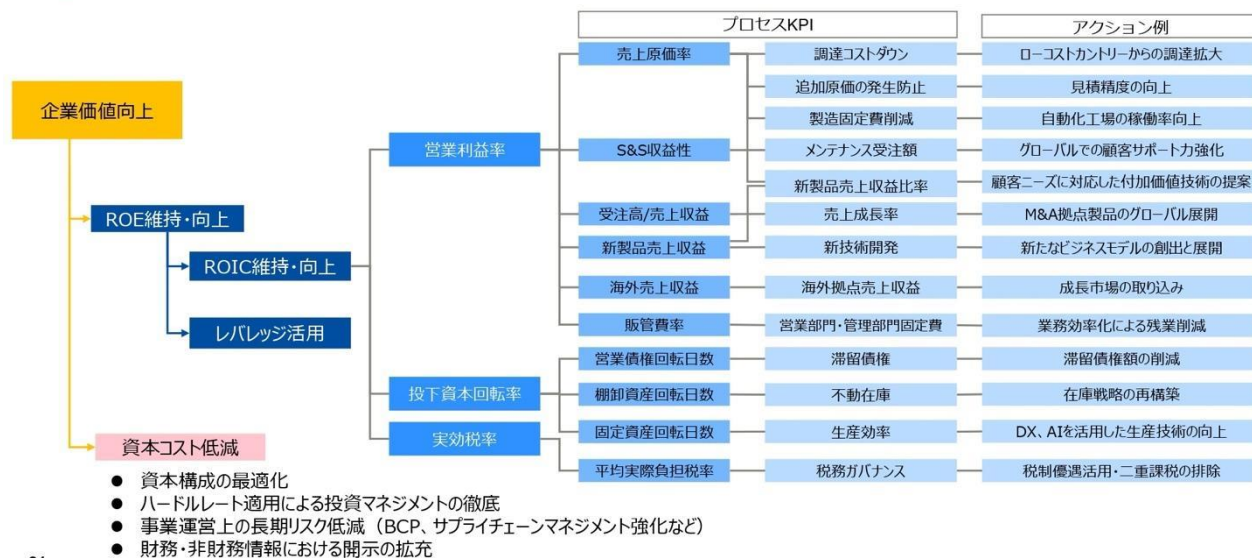
現在の E-Plan2025 におきましては、各事業の競争力強化のために、成長投資および基盤投資を進めてまいっておりますが、前中計期間に達成した高い水準を保ちつつ、ROIC のスプレッドの最大化を目指して、各事業において取り組みを進めております。

4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗

ROICツリー



- ROE/ROIC経営目標に対して事業別ROICを適切に管理し、資本効率の改善を図る
- 資本市場との積極的な対話を行い、資本コストの低減に向けた施策を実行

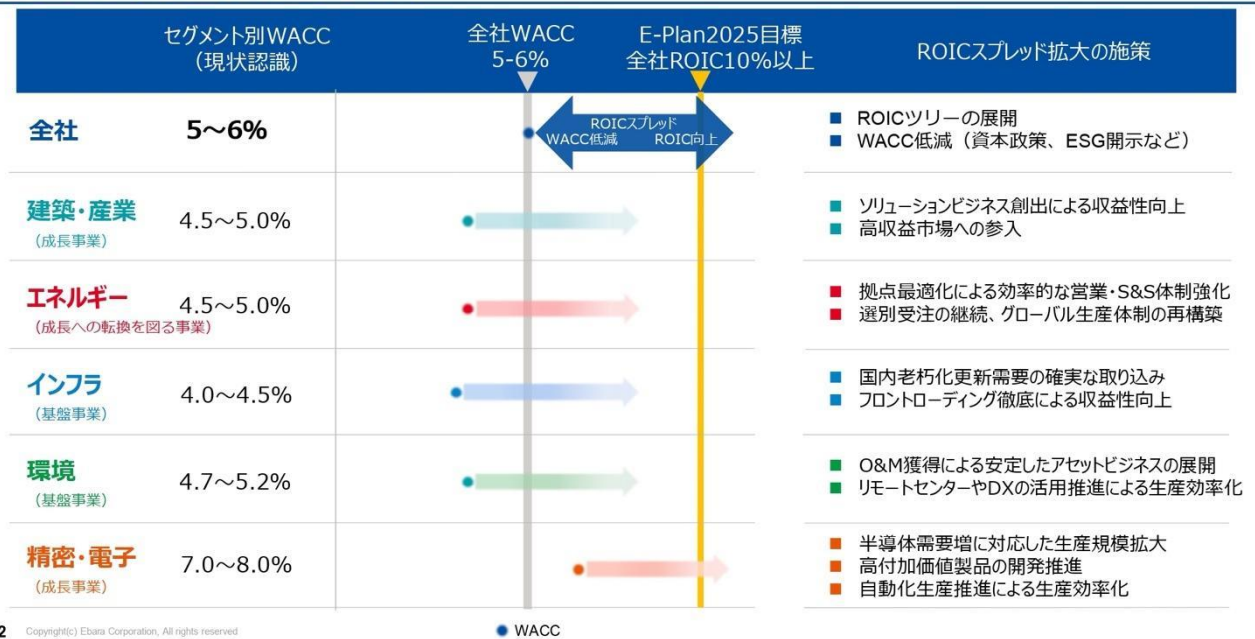


21 Copyright (C) Ebara Corporation, All rights reserved.

全社におきましては、こちらに示させていただいた ROIC ツリーに基づいて、財務指標の分解にとどまらず、プロセス KPI の設定と、KPI を改善するための具体的なアクションを実行しております。そして、そのプロセス KPI とアクションの進捗については、月次の会議を行ってモニタリングを行っております。

また、資本コストの低減につきましては、負債の活用を含めた資本構成の最適化、さらには、各事業のハードルレートを意識した投資管理を行っております。また、BCP、Business Continuity Plan、サプライチェーンマネジメントの強化を図って、長期リスクの低減に努めるとともに、財務・非財務情報の開示の拡充を進めております。

セグメント別ROICスプレッド



22 Copyright© Ebara Corporation, All rights reserved

各事業に置きおきましては、E-Plan2025で掲げる、全社ROIC10%以上を達成するために、事業ごとのWACCを意識しつつ、ROICスプレッドの最大化を目標として、各施策に取り組んでおります。

その主な施策を右側にまとめさせていただいております。

今回は、成長事業と位置づける、建築・産業、精密・電子、そして成長事業への転換を図る事業と位置づけるエネルギーについて、具体的な取り組みをご紹介します。

建築・産業

■ 工作機械向けポンプ事業の譲受契約締結

2023年7月 当社グループ会社EBARA Pumps Europe S.p.A（イタリア）とSKFグループ(スウェーデン)の子会社であるSKF Lubrication Systems Germany GmbH（ドイツ）との間で、工作機械向けポンプ事業の譲受契約を締結

対象譲受事業	<ul style="list-style-type: none"> SKF Lubrication Systems Germany GmbH社の工作機械向けスクルー式及びシールレス浸漬式ポンプ事業 		
譲受完了時期	<ul style="list-style-type: none"> 2023年下期予定 		
狙い	荏原グループのリソース・ネットワークを活用して工作機械のグローバル市場へと参入し、新たな高付加価値製品とサービスを提供する <ul style="list-style-type: none"> ポンプ製品ラインナップの強化 欧州工作機械市場の商流獲得 		
プロセスKPI	<table border="1"> <tr> <td>売上成長率/海外拠点売上収益</td> <td>海外拠点売上収益</td> </tr> </table>	売上成長率/海外拠点売上収益	海外拠点売上収益
売上成長率/海外拠点売上収益	海外拠点売上収益		
アクション例	<table border="1"> <tr> <td>M&A拠点製品のグローバル展開</td> <td>成長市場の取り込み</td> </tr> </table>	M&A拠点製品のグローバル展開	成長市場の取り込み
M&A拠点製品のグローバル展開	成長市場の取り込み		

23 Copyright(C) Ebara Corporation, All rights reserved

エネルギー

■ S&S拠点の最適化

拠点配置の再検討、サービス員配置の最適化により収益の最大化を図る

- サウジアラビアにS&S拠点を設置 (FY23 2Q)



- カナダのS&S拠点の一部を閉鎖 (FY23 3Q予定)



- インドネシアのS&S拠点を移設・拡充 (FY24 1Q予定)



完成予定イメージ図

プロセスKPI : メンテナンス受注額

アクション例 : グローバルでの顧客サポート力強化

建築・産業セグメントでは、7月に発表いたしました。当社グループ会社の EBARA Pumps Europe とスウェーデン、SKF グループのドイツ会社との間で、一部事業の譲受契約を締結いたしました。付加価値の高い工作機械市場に向けての製品サービスを取り込むことによって、売上成長と収益性向上を図ってまいります。

エネルギーセグメントでは、収益の最大化を図るために、サービス&サポート拠点の最適化を進めております。納入台数の多いサウジアラビアでの拠点設置や、カナダ拠点の一部の閉鎖、インドネシア拠点の移転・強化を行っております。カスタムポンプとコンプレッサ・タービン、両製品の技術・営業・ノウハウの相互利用も想定いたしております。

ROICスプレッド拡大に向けた取り組み

精密・電子

■ CMP生産棟の新設

長期的な半導体需要拡大を見据えた生産能力増強のため、熊本事業所に新たな生産棟(K3)の建設を開始
(2024年竣工予定)

- 生産能力を従来比1.5倍以上に拡大。更なる事業拡大と顧客ニーズへの柔軟な対応を実現
- IoT技術を活用した生産システムの採用でDXを推進し、高効率生産ラインを確立



完成予定イメージ図

プロセスKPI: 売上成長率/生産効率
アクション例: DXを活用した生産技術の向上

■ マレーシアドライ真空ポンプオーバーホール工場の本格稼働

東南アジア地域における新たなS&S拠点の展開とマレーシアを中心とした東南アジア地域全体のサプライチェーンを強化

プロセスKPI: メンテナンス受注額
アクション例: グローバルでの顧客サポート力強化

■ 装置系開発棟の新設

主力製品であるCMP装置をはじめとする装置事業の強化に向け、藤沢事業所に新たな開発棟の建設を開始
(2025年夏竣工予定)

- 開発エリアの拡充、IoTネットワークの整備による開発の加速
- 顧客へのプロセス評価・提案力の強化
- 最先端の開発装置、検査装置、ユーティリティ環境を活用した次世代のプロセス開発



完成予定イメージ図

プロセスKPI: 新製品売上収益比率
アクション例: 顧客ニーズに対応した付加価値技術の提案

精密・電子セグメントにおきましては、熊本工場において、生産棟の増設を進めております。生産能力を従来比で1.5倍に拡大する計画となっております。IoTを活用した生産システムを確立して、生産の効率化を進めてまいります。海外におきましては、マレーシアで、ドライ真空ポンプのオーバーホール工場が稼働を開始いたしました。東南アジア地域におけるサービス&サポート網の拡充およびサプライチェーンの強化を図ってまいります。

最後に、今年の夏より着工に入っておりますCMPをはじめとする装置事業の強化のための開発棟を、藤沢事業所内に建設予定でございます。先端分野、次世代プロセス向けの開発のリードタイムを短縮して、お客様への提案力を向上させることを目的としております。

以上、私から、業績予想とE-Plan2025の進捗についてご説明させていただきました。

1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY23 1-2Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
- 5. 補足資料**

5. 補足資料 受注高

旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	1,770	3,994	5,945	8,152
風水力	911	1,878	2,866	4,064
ポンプ	578	1,156	1,726	2,274
コンプレッサ・タービン	193	412	652	1,110
冷熱	105	246	382	485
その他	34	62	104	193
環境プラント	163	462	768	1,058
精密・電子	689	1,646	2,299	3,015
コンポーネント	312	631	920	1,162
CMP	357	977	1,330	1,792
その他	20	37	48	60
その他	4	7	10	13

新セグメント

	FY22				FY23			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/08/14
連結合計	1,770	3,994	5,945	8,152	1,979	3,676	7,400	7,630
建築・産業	473	1,026		2,048	522	1,110	2,200	2,200
エネルギー	291	592		1,480	623	1,014	1,600	1,900
インフラ	146	259		535	156	252	490	490
環境	163	462	768	1,058	333	492	900	900
精密・電子	689	1,646	2,299	3,015	340	799	2,200	2,130
コンポーネント	312	631	920	1,162	241	423	930	850
CMP	357	977	1,330	1,792	90	349	1,200	1,170
その他	20	37	48	60	7	26	70	110
その他	4	7	10	13	2	5	10	10

売上収益



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	1,528	3,124	4,800	6,808
風水力	876	1,792	2,702	3,833
ポンプ	516	974	1,472	2,090
コンプレッサ・タービン	224	506	770	1,117
冷熱	101	247	365	486
その他	34	63	93	139
環境プラント	216	364	522	737
精密・電子	431	960	1,564	2,222
コンポーネント	219	458	731	1,014
CMP	195	470	790	1,157
その他	16	30	42	50
その他	3	6	10	14

新セグメント

	FY22				FY23			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/08/14
連結合計	1,528	3,124	4,800	6,808	1,840	3,638	7,470	7,470
建築・産業	411	895		1,935	530	1,065	2,100	2,100
エネルギー	288	640		1,436	359	794	1,550	1,650
インフラ	176	255		462	203	292	500	500
環境	216	364	522	737	178	309	710	710
精密・電子	431	960	1,564	2,222	564	1,169	2,600	2,500
コンポーネント	219	458	731	1,014	238	477	1,050	960
CMP	195	470	790	1,157	317	676	1,510	1,500
その他	16	30	42	50	8	15	40	40
その他	3	6	10	14	3	6	10	10

27 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

営業利益



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	141	271	426	705
風水力	79	127	176	320
ポンプ	65	84	118	160
コンプレッサ・タービン	4	21	50	132
冷熱	2	11	10	16
その他	6	9	-2	10
環境プラント	19	9	4	36
精密・電子	47	139	255	361
その他、調整	-6	-8	-10	-15

新セグメント

	FY22				FY23			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/08/14
連結合計	141	271	426	705	152	337	710	710
建築・産業	20	48		114	39	67	130	130
エネルギー	15	42		169	11	73	118	145
インフラ	44	41		39	48	44	30	30
環境	19	9	4	36	18	26	50	50
精密・電子	47	139	255	361	34	126	390	360
その他	-6	-8	-10	-15	0	0	-8	-5

28 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

5. 補足資料
受注残高



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	6,895	7,749	8,132	8,181
風水力	2,387	2,581	2,744	2,697
ポンプ	1,127	1,280	1,402	1,301
コンプレッサ・タービン	1,031	1,074	1,089	1,120
冷熱	149	148	162	142
その他	78	77	90	132
環境プラント	2,798	2,960	3,104	3,174
精密・電子	1,706	2,205	2,281	2,308
その他	2	2	1	0

新セグメント

	FY22				FY23			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/08/14
連結合計	6,895	7,749	8,132	8,181	8,272	8,368	8,110	8,341
建築・産業	536	629		627	617	746	727	727
エネルギー	1,366	1,440		1,475	1,736	1,820	1,525	1,725
インフラ	483	511		595	513	525	585	585
環境	2,798	2,960	3,104	3,174	3,329	3,291	3,364	3,364
精密・電子	1,706	2,205	2,281	2,308	2,075	1,984	1,908	1,938
その他	2	2	1	0	0	0	0	0

29 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

5. 補足資料
地域別売上収益



旧セグメント

(単位：億円)	FY22				FY23	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
風水力	876	1,792	2,702	3,833	1,094	2,152
日本	385	674	932	1,322	447	766
アジア（日本除く）	221	513	811	1,131	262	633
北米	64	131	234	343	174	230
欧州	81	190	302	401	74	189
中東	62	138	211	343	77	196
その他	60	142	210	291	58	136
環境	216	364	522	737	178	309
日本	211	343	499	701	178	298
アジア（日本除く）	4	20	23	35	0	11
精密・電子	431	960	1,564	2,222	564	1,169
日本	105	213	343	499	102	223
アジア（日本除く）	228	548	905	1,307	340	685
北米	51	111	180	233	60	129
欧州	43	82	128	167	54	121
その他	2	4	6	15	6	8

*FY23 風水力の数値は旧セグメントでの参考値

新セグメント

(単位：億円)	FY23	
	1Q	1-2Q
建築・産業	530	1,065
日本	236	452
アジア（日本除く）	135	290
北米	36	78
欧州	59	123
中東	20	32
その他	42	87
エネルギー	359	794
日本	18	49
アジア（日本除く）	117	319
北米	137	149
欧州	15	66
中東	55	161
その他	14	48
インフラ	203	292
日本	191	265
アジア（日本除く）	9	23
北米	0	1
中東	0	1
その他	0	0

30 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

5. 補足資料

サービス&サポート売上収益



旧セグメント

(単位：億円)

		FY22				FY23	
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
風水力	S&S売上収益	337	640	918	1,364	439	834
	S&S比率	39%	36%	34%	36%	40%	39%
ポンプ	S&S売上収益	158	252	339	482		
	S&S比率	31%	26%	23%	23%		
コンプレッサ・タービン	S&S売上収益	137	306	466	705		
	S&S比率	62%	61%	61%	63%		
冷熱	S&S売上収益	35	71	98	154		
	S&S比率	35%	29%	27%	32%		
環境	O&M売上収益	154	247	355	509	150	255
	O&M比率	71%	68%	68%	69%	84%	82%
精密・電子	S&S売上収益	170	349	556	752	156	324
	S&S比率	39%	36%	36%	34%	28%	28%

*FY23 風水力の数値は旧セグメントでの参考値

新セグメント

(単位：億円)

		FY23	
		1Q	1-2Q
建築・産業	S&S売上収益	108	217
	S&S比率	21%	20%
エネルギー	S&S売上収益	214	462
	S&S比率	60%	58%
インフラ	S&S売上収益	116	154
	S&S比率	57%	53%

31 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5. 補足資料

貸借対照表



(単位：億円)

	FY22 2Q	FY22 4Q	FY23 2Q	増減	増減
	a	b	c	c-a	c-b
資産合計	7,749	8,280	8,527	+777	+246
流動資産	5,384	5,806	5,941	+556	+134
現金及び現金同等物	1,435	1,161	1,436	+0	+275
営業債権	2,124	2,530	2,286	+162	-243
棚卸資産	1,543	1,813	1,959	+415	+145
その他流動資産	281	302	259	-21	-42
非流動資産	2,364	2,473	2,585	+221	+112
負債合計	4,240	4,583	4,599	+358	+16
営業債務	1,572	1,746	1,505	-67	-241
有利子負債	1,178	1,193	1,257	+79	+64
その他負債	1,489	1,643	1,836	+346	+193
資本合計	3,508	3,697	3,927	+418	+229
親会社所有者帰属持分	3,412	3,599	3,823	+410	+223
その他資本	96	97	103	+7	+6
親会社所有者帰属持分比率	44.0%	43.5%	44.8%	+0.8pts	+1.3pts
D/Eレシオ	0.35	0.33	0.33	-0.02	-

32 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5. 補足資料

キャッシュ・フロー



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q			1-4Q				
	FY22	FY23	増減	FY22	FY23 計画 23/05/15	FY23 計画 23/08/14	増減	増減
	a	b	b-a	c	d	e	e-c	e-d
営業活動CF	284	521	+236	370	500	550	+179	+50
投資活動CF	-140	-159	-19	-383	-570	-470	-86	+100
フリーCF	144	362	+217	-12	-70	80	+92	+150
財務活動CF	-165	-116	+48	-237	200	0	+237	-200

33 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

5. 補足資料

資本的支出・減価償却費・研究開発費



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q	1-4Q
	FY22	FY22
	a	b
資本的支出	122	275
風水力	48	109
環境プラント	13	20
精密・電子	20	63
その他、調整	38	81
減価償却費	111	240
風水力	55	119
環境プラント	4	8
精密・電子	36	73
その他、調整	15	38
研究開発費	70	152
風水力	34	74
環境プラント	4	11
精密・電子	31	66

(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q		1-4Q			
	FY23	増減	FY23 計画 23/05/15	FY23 計画 23/08/14	増減	増減
	c	c-a	d	e	e-b	e-d
資本的支出	160	+37	560	460	+184	-100
建築・産業	34		90	90		-
エネルギー	22		80	80		-
インフラ	2		20	20		-
環境	3	-10	30	30	+9	-
精密・電子	51	+30	260	160	+96	-100
その他、調整	45	+6	80	80	-1	-
減価償却費	129	+17	265	265	+24	-
建築・産業	32		60	60		-
エネルギー	24		40	40		-
インフラ	4		10	10		-
環境	3	-0	10	10	+1	-
精密・電子	38	+1	80	80	+6	-
その他、調整	25	+10	65	65	+26	-
研究開発費	88	+17	210	210	+57	-
建築・産業	21		50	50		-
エネルギー	17		30	30		-
インフラ	3		10	10		-
環境	7	+3	10	10	-1	-
精密・電子	38	+7	110	110	+43	-

34 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.



統合報告書2023 (2023年7月26日)

- 新中期経営計画「E-Plan2025」における経営戦略
- E-Plan2025期間における非財務KPIの開示
- 保有技術と人材データを見える化した技術元素表
- 取締役会の実効性の向上とG to V (Governance to Value) に向けた取り組み状況



参照URL : <https://www.ebara.co.jp/ir/library/annual-report/index.html>

35 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

TCFD提言に基づく情報開示 (2023年7月14日)

新たに以下の主要市場における気候変動関連のリスク・機会のシナリオ分析および財務インパクトを追加開示

- 建築・産業設備市場
- 水インフラ市場
- 固形廃棄物処理市場



参照URL : https://www.ebara.co.jp/corporate/newsroom/release/company/detail/1211751_1673.html

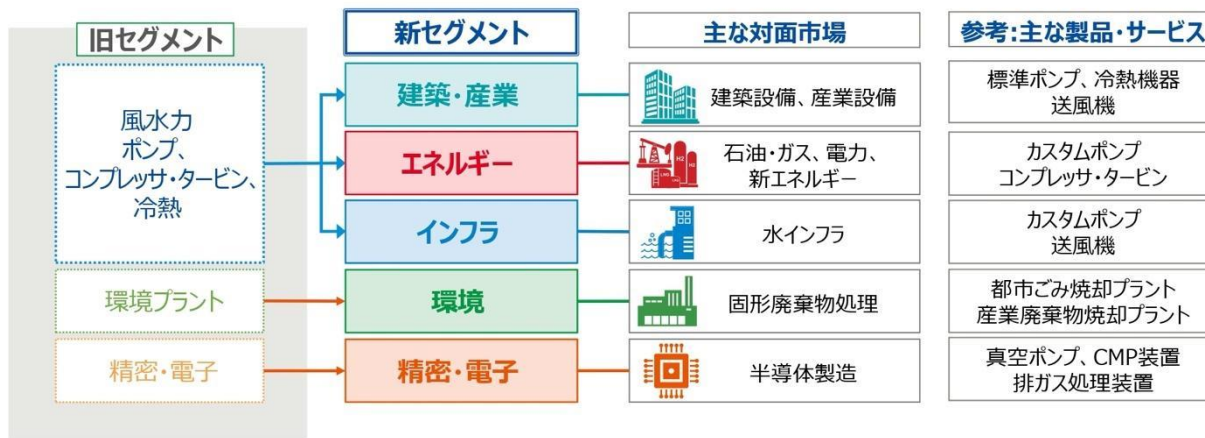
2022年度ESGデータ集 (2023年5月24日)

- 在来グループの2022年度ESGデータの新規追加開示
- E: 水 再生・循環使用量
 - S: グローバル・キー・ポジション女性ポジション比率
 - S: 男女賃金差異
 - S: 男性育児休業取得率

参照URL : <https://www.ebara.co.jp/sustainability/data/information/esg.html>



2023年1月1日より、事業セグメントを製品軸セグメントから対面市場軸セグメントへ変更



36 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved.

免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。